

【日生連研究部イブニングゼミ】 加藤聡一

第1回 全体構成図の説明と、上巻第4章「成長としての教育」 2022年3月26日(土)19:00~20:30ごろ

第2回 下巻第23章「教育の職業的側面」 4月23日(土)19:00~ ZOOM

※英文は、DEMOCRACY AND EDUCATION by John Dewey 1916

<https://www.gutenberg.org/files/852/852-h/852-h.htm>

0 『民主主義と教育』島 (DE 島) の探検！

第4章は、くり返し立ち返る泉のような場所。第23章は、全体が見渡せる小高い丘。

全体の見取り図は、「序」と第24章の一参照。

①

民主的基準 (社会をはかる尺度) (望ましい諸特徴) : 第7章④上 136 ページ2行目

↓

望まれる変化 第23章⑳ 下 184 ページ6行目～ ※オキュペーションが育っていった社会

②「エンジョイ○○」は、衝動→ 興味(関心) 一目的 →職分|職業

③前回復習

第4章⑤ 生命のあるところには、すでに強く激しい活動力が存在している

成長は、その活動力がなすもの

第4章⑧ 可塑性 性向 disposition 心的傾向を保持しながら周囲に同調する

さらに深く・・・経験から学ぶ能力

④第4章で、そうか!と思ったり、疑問に思ったりしたことは、第23章でも展開した形で出てくる。

11 第23章 教育の職業的側面

第18章からの到達点

民主的基準がどのぐらい実現しているか 24-⑤ p.192

教育的価値≡目的≡教科目標 これらが、現実には分裂している 18-① (cf.実感と鑑賞)

到達点

望まれる変化 第23章⑳ 下184ページ6行目～

{☆民主的基準 ←「すでに強く激しい活動力が存在している」4-⑤}

記述に沿って

一、職業の意味

① 「現代では・・・職業的要素・・・に集中」 ⇔哲学

②職業の定義

vocation とは・・・「

occupation・・・連続性をあらわす

※オキュペーションは、集団と職業の両方ででてくる用語。

③ただ一つ割り当てられているようなものではない

第一 様々な職分を持っている

第二

一つの職分の名→職業の名

※職業・仕事 vocation calling occupation、第23章では、vocation 職業、calling 職分、と区別か？

図

二、教育における職業的目標の位置 ※進路指導・キャリア教育をするときの留意点

⑤ 個人の独自の活動

1、幸福への鍵、

正しい仕事とは、

⑥

2、目的をもつ連続的な活動

⑧

3、 トレーニング for occupation →through occupation

⑨間接的にはじめ、絶え間なく発見される

「職業の発見」

三、現在の職業教育の機会と危険性 ※どういう捉え方をすると楽になるか／苦しくなるか→どうするか

※カリキュラムや学校制度の背景⇐社会

職業の意味を明示し計画的に

⑬第一 社会への具体的な奉仕活動に関するものが尊重

⑭第二 社会の立て直し

⑮第三 科学技術

⑯第四 知識との関係

⑰第五 心理学

⑳まとめ →**学校** 社会的職分の典型 ※オキュペーションさかのぼり

㉑ 産業の諸要素を活用する

㉒ 社会の模型を学校の中につくる そこで・・・disposition

※「単線型学校制度」「大学における専門と教養」の創造⇔「エリート」という「職業」、「教員養成の目的化」